



なかよし苗代っ子

令和5年12月号
苗代小学校校長 広見 理恵
TEL 0761-22-1041
FAX 0761-22-1059
e-mail:nosiro-e@kec.hakusan.ed.jp



2023年を漢字一文字で表すと



激動の2023年も残すところあと少しになりました。地域の皆様、保護者の皆様にとって、今年はどうな一年だったでしょうか。

学校では、コロナ禍で中止になっていたものが復活したり、形を変えてスタートしたりする一年となりました。コロナ禍は学校にとって多大な影響を与えた出来事でしたが、半面、過去何十年とこれまで慣例で行っていた教育活動の意義や目的を見直す機会ともなりました。ただコロナ前に戻すのではなく、今一度、その意義や目的を考えて教育活動を行う、「リスタート」の一年になったかと思います。

この一年の苗代っ子をふり返って、2023年を漢字一文字で表すと **笑** でしょうか。5月にコロナが5類となり、子どもたちの笑顔、とりわけ大きな口を開けて笑う苗代の子どもの笑顔が見えるようになったことが、私にとって何より嬉しいことです。もちろん、適切なマスクの着脱はインフルエンザの流行時など必要ですが、基本的に、学校とは子どもの笑顔があふれるところであってほしいという願いは、コロナ禍を経てより確かなものになりました。

教育の場において「変わるもの」と「変わらぬもの」とは何か。「不易流行」という言葉の意味を考え続けた3年間でしたが、「変わらぬもの」とは「子どもたちの笑顔」であることを教育の第一義とし、これからも苗代小学校の教育活動を進めていきたいと思っています。

皆様にとって、今年はどうな年だったでしょうか。ではよいお年を。

学級閉鎖・学年閉鎖について



12月4日の朝、コドモンに入っていた欠席連絡の多さに驚き、そこから低学年→中学年→高学年と、インフルエンザA型の罹患による欠席数が増え、学年閉鎖や学級閉鎖の事態となりました。保護者の皆様におかれましては、突然のお知らせ・お願いで多大なご心配とご負担をおかけしたことを心から申し訳なく思います。12月14日以降からは学級閉鎖も解消され、感染も落ち着きを見せています。今後、できる限りの感染予防に努めていきますので、ご協力の程お願い致します。



つながりからの学び ~11・12月編~



仲よくしよう会の2回目が11月に行われました。これは全校を21グループに分け、それぞれのグループの6年生を中心に、1~6年の学年を越えた交流を行うことで、全校での関わりと高学年のリーダー性を育てる目的で年3回予定されている児童会の取組です。6年生が工夫をこらした内容を準備してくれ、どのグループからも楽しそうな笑い声が響いていました。

全校 ~なかよくしよう会~



社会科の学習で5年生がKomatsu 粟津工場に社会見学に行きました。実際の製造現場の工場の様子を目の当たりにし、興味深く学びを深めていました。

5年 ~社会科・Komatsu 見学~



3年 消防署見学

3年生が社会科の学習で消防署の見学に行きました。はしご車見学や煙体験など、防火・消火に関する多くの事を学ぶことができました。



2年生が生活科の学習で、おもちゃランドに1年生を招待しました。いろいろ工夫されたゲームコーナーで、2年生が優しく1年生に教えている姿が印象的でした。

1・2年 ~生活科・おもちゃランド~

6年 バスケットボール 交流会



国府小6年生を迎え、バスケットボール交流会が行われました。双方のチームに温かな声援を送るなど、国府小の子どもたちとバスケットボールを通して関わることができました。



4年 児童発表会

蓮代寺小、松東みどり学園の4年生をお迎えして児童発表会が行われました。苗代小はエーデルワイスの美しい演奏のあと、大迫力のよさこいソランを披露しました。それぞれが学校の特色を活かした発表となりました。他校の違いを認め合う交流会となりました。

